

日本での交換留学

お茶の水女子大学
ベン・ザキン・ルッソ メリル
学籍番号 k2490065

お茶の水女子大学に参りましたのは、日本語能力を向上させるとともに、有吉佐和子についての研究を継続するためでございます。授業に関しましては、多様なレベルの講座がご提供されていたことに深く感謝しております。熱意ある先生方によるご講義は大変分かりやすく、新たな文法規則や語彙を学ぶことができました。研究に関しましても、この留学を通じて、有吉佐和子の著作や歴史文学に関する書籍を多く購入する機会をいただきました。また、日仏会館で開催された多数の研究シンポジウムに参加し、国会図書館の利用登録も行うことができました。

しかし、この1年は学びだけに充てたわけではございません。まず、お茶の水女



大のご支援により、歌舞伎や華道、和食料理など、数多くの文化体験に参加することができました。そのほか、ライブサークル「Live Orangemania」に参加し、舞台出演や友人と共に歌う経験を得ることができました。大学外では、日本各地を旅する機会にも恵まれました。例として、雪見露天風呂を楽しんだ草津温泉、花と海を眺めた日立、冬のイルミネーションと新年花火を満

喫した桑名、鳥取砂丘の散策、美食の街・大阪、鹿と対面した奈良、最後に和歌山と千葉では友人との再会を果たしました。また、桃の季節には大変なフルーツ好きということもあり、限定の桃スイーツを存分に味わいました。

このように充実したプログラムでありましたが、それでもなお心の一部はこの国に留まっており、私は必ずまた日本を訪れたいと考えております。初めて訪れた日から日本は私の第二の故郷となり、毎年再訪せずにはられません。

つきましては、この素晴らしい一年間を過ごす機会を与えてくださいましたお茶の水女子大学に、心より感謝申し上げます。留学生センターの皆様には、行政手続きに関し大変お世話になりましたこと、深く御礼申し上げます。ご担当いただいた先生方には、学びの機会と共に、困難な時期における温かいご支援、そして私の障がいへのご理解を賜りましたこと、心より感謝致します。

大好きな音羽館の管理人の皆様には、そのお優しいご対応、ご助力をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。最後に、毎日笑顔で迎え、安全を配慮くださった大学の守衛スタッフの皆様にも、深く感謝申し上げます。皆様のおかげで、本当に充実した留学生活を送ることができました。このような貴重な経験ができましたこと、感謝の至りに存じます。

